

第1回 恵み野商店街活性化振興計画策定検討委員会【実施概要】

日 時	平成23年11月4日（金） 19:00～20:30
場 所	恵庭リサーチ・ビジネスパーク 3階 大研修室
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ◆恵み野商店街活性化振興計画策定検討委員（17名） ◆市長 ◆事務局（4名） ◆市関係部署（8名）
委員会次第	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 委嘱状交付 3. 市長挨拶 4. 委員、市担当者紹介 5. 議事（別紙「議事要旨」参照） <ol style="list-style-type: none"> (1) 委員会設置及び運営要綱の審議 <ul style="list-style-type: none"> ■事務局の原案通り承認された。 (2) 会長、副会長の選任 <ul style="list-style-type: none"> ■会長に委員H、副会長に委員Fを選任。 (3) 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> ①恵み野商店街活性化振興計画の策定について <ul style="list-style-type: none"> ■検討委員会の流れ（資料1）、恵み野商店街の概況（資料2）及び今回実施したアンケート調査（資料3）を事務局より説明。 (4) 意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ■今後の委員会の進め方や、恵み野商店街について感じていることについて意見交換。要旨は別紙【議事要旨（意見交換・討議）】参照。 (5) 今後のスケジュールについて <ul style="list-style-type: none"> ■次回委員会でアンケート結果を事務局から報告。 ■次回の委員会は、11月下旬～12月上旬を予定。 	
以上	

【議事要旨（意見交換・討議）】

《委員 I》

アンケート調査の回収率が36%とのことだが、再度返送されてない方について町内会の会報などを通じて通知する予定はないか。回収率が少し低いと思う。

地域の活性化のためのアンケートなので、回収率として50%は欲しい。

《事務局》

町内会の回覧を活用する方法があるが、個別に催促を行うことは難しい。

《委員 O》

どこからどういう視点で攻めていって、この委員会で話し合っていくという方向性がよくわからないので、どこから話をして良いのかわからない。

《事務局》

今回は準備の時間も不足しており、事前に資料をお渡しできなかったが、次回からは事前に資料をお配りし、もう少し深い話ができるようにしたいと思う。

《事務局》

まずは、自己紹介の中でもお話頂いたこの地域の財産や素晴らしさについて話し合いながら課題を見つけていきたい。

この地域の良さについて委員皆さんで話し合うことで共有したい。

《委員 O》

アンケート調査について、例えば次の会議までに集計を先に送って頂き、委員全員が目を通してから話し合いをしないと時間にムダが出ると思う。

5回の委員会で、皆さんがどの程度のことを期待しているのか。

《事務局》

2回目以降は事前に資料を送付したい。

17名と人数も多いので、商業者だけお集まりいただくなど小単位での会議の開催についても検討したい。

《委員 P》

資料1で検討委員会の流れが説明され、課題を整理してほしいという話だが、今日はここまでで、次回は何について議論していくかが明確でなければ厳しい。アンケートの中で

も、「商店街」「商店会」という言葉があるが、コープさっぽろや恵み野病院近辺の店はその中には入ってこないのので、そこを主に利用する市民からすればどう回答して良いかということになってくる。いずれにしても、今日どこまで話をして、残った課題で次は何を話せば良いのかがはっきりすれば良いと思う。

《事務局》

こちらも、事前に何も資料が届かなかったという非がある。今回については、意見交換で終わるしかないと思う。

今回は皆さんの地域に対する思いなどをお聞かせして頂き、具体的な今後のことについては次回以降に時間をとってお聞きしたい。

《委員M》

中学校のPTAで、地元の商店街と関わりがあったこととして、一年に一度開催する文化祭でのPTAバザーがある。

バザーではドーナツが人気だったが、昔は千歳（ミスタードーナツ）まで行かなかったが、ある時から恵み野にもドーナツ屋さん（フロレスタ）が出来て、そこで頼むようにしたらバザーで大好評だった。

パンはピーコックのパンを使わせてもらうなど、出来るだけ全部地元のものを使わせて頂いていて、中学校で販売すると美味しいと評判になり、その店に直接買いに行くという、良い感じになっている。

バザーのような行事の時には、地元との繋がりを非常に感じる。

《委員D》

資料1にある、「恵み野地区の活性化」はどのようなことをイメージされているのか。「商店街の活性化」であれば、商店街が主体だが、「地区の活性化」と言ったとき、誰が主体で、どのような状態を活性化した地区というのか。事務局でイメージはあるのか。

また、「恵み野地区の活性化」と「商店街の活性化」が一体であるという一方で、資料の中ではその二つの「連携」という表現を用いているが、「連携」となるとまるで別なものが手を組む、という印象がある。

地区の活性化のイメージについての考えを示して頂きたい。

《事務局》

恵み野地区は少子高齢化が進んでおり、その対策は非常に難しい課題である。

今回のアンケートで空き家バンクについて伺っているが、恵み野地区は戸建て住宅がほとんどで、マンション・アパートが少ないことから人の動きが少なく、その事が少子高齢化にも関係している。

高齢者が増え、一方で子どもが減っていることから、地区の活性化が必要と考えている。

《委員 F》

商店会で話をしてきたこととして、恵み野地区の開発が始まった当初からいる人が言っている事は、歩道が暗く、街灯がないため、夜は自動販売機の灯りだけが頼りであり、通勤・通学する人達は商店街の裏通りを歩いているというのが現状だということ。

また、駐車場の問題としては、開発当時は歩車道分離の方針で、わざと車が入りにくいような作りになっているが、現状とは合わなくなっている。

店の裏側に車を停めるには住宅街の中に入らないとしないため、なかなか停めづらく、店舗の前側は停車可、駐車禁止だったが、最近では警察の取締りが厳しくなっていることから、店舗前の車の停車がすごく気になる。

《委員 A》

恵庭リサーチ・ビジネスパークは恵み野商店街の近くにありながら、なかなか連携する機会が無かった。

本来我々は産業支援として主に市内の工業団地の企業さんと連携し、何か新しいものを見つける異業種交流会という事業もやっている。

本日の検討会を通して商店会の皆様との連携や、施設の利用などでお手伝いできたらと思っている。